



補習校だより

平成28年度 第24号

平成28年10月22日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

日本語を大切に

先月発表された文化庁の平成27年度「国語に関する世論調査」には、実に興味深い内容があります。

この調査は、文化庁が平成7年度から毎年実施しているもので、日本人の国語に関する意識や理解の現状について調査し、国語施策を立案し、国民の国語に関する興味・関心を喚起することを調査目的としています。今回の調査は、全国16歳以上の男女に対し今年2月～3月に行われたものです。

① “言葉への関心” という調査では、
「毎日使っている日本語を大切にしている」…8割弱

「『美しい日本語』があると思う」…9割強

② 『美しい日本語』だと思える言葉については、

「思いやりのある言葉」(63.3%)

「挨拶の言葉」(45.3%)

「季節の移り変わりを表す言葉」(34.5%)

などとなっています。特に

③ 「どのような言葉に出会ったとき、心と心を結ぶ言葉の大切さを感じるか」では、

「地域や職場で、気持ちよく挨拶をし合うとき」…5割強

と、“あいさつ”をすることの大事さをたくさんの方が感じている事が分かります。

本校は日本語による日本の教育課程を補習する場として『美しい日本語』を正しく学ばせることを目的としています。学習や生活の場面を通して、日本語を大切にすることを子ども達の中に培っていきたいと思います。

ところで「ら抜き」言葉ですが、皆様はどちらを使うことが多いですか？

【今年は初日の出が】①見られた②見れた (本調査では、①44.6%、②48.4%)

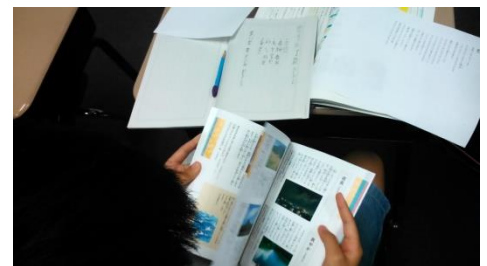
「ら抜き」は可能の助動詞「られる」の「ら」が脱落した状態です。1995年の国語審議会で「改まった場での『ら抜き言葉』の使用は現時点では認知しかねる」とし、「乱れた日本語」とされてきました。新聞などでもほとんど用いられていないそうです。



【朝から気持ちの良い挨拶「おはようございます！」】



【教科書を持ち日本語を音読する～小2】



【季節を表す言葉一季語を学ぶ～小5】